

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 大牟田市立歴木中学校 (※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>  
☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫）  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む  
所在地 〒837-0924  
大牟田市立歴木中学校  
E-mail kunugi-js@st.city.omuta.fukuoka.jp/kunugi-jp  
Website http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/kunugi-jp  
幼児児童生徒数 男子 128 名 女子 107 名 合計 235 名  
幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校では、教育活動を通して、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「福祉体験」、「職場体験」、「保育体験」の交流体験及び進路学習から様々な課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを通して実生活や社会で生かされる思考力・判断力・表現力を身につけることを目指しています。

生徒たちは学習を進めていく中で「考え」たり「感じ」たりしたことから課題を見つけ、班目標、個人目標を設定し、実践につなげることがねらいです。また、生徒同士や地域に住む人たちとの思いや願いを共有し、「つながり」「かかわり」を大切にしながら、地域に対する誇りを持つことで新たな自分を発見し、地域に貢献できる資質や能力を育成することを目指しています。

### ① 認知症や高齢者に係わる学習（福祉学習）

12ヶ所の高齢者福祉施設へ5～6人の班ごとに分かれて訪問し、高齢者の方とのふれあいや介護を体験した。また、高齢者介護施設で働く人々と行動を共にすることで介護がただ食事やお風呂の世話をすればいいだけのものではなく、高齢者の方や介護施設で働く人の生き方や大切にしたい思いなどを学びました。

福祉体験学習後の生徒の感想「おばあちゃん、おじいちゃんとお話をしたり、ゲームをしたり、歌を歌ったりして楽しめました。お話をしたりするとおばあちゃん、おじいちゃんの顔はとても笑顔になっていて、私も嬉しい気持ちになりました。」

## ②職場体験に係わる学習（職場体験学習）

1 グループ 2～4人の少人数でグループを編成し、グループごとに職場体験を行わせていただく事業所へ電話連絡をして打合せの日程を調整し、事業所へ説明を聞きに行くことで仕事の概要を知り、事業所で実際に働くことで、働くことの大切さや意義、大変さや喜びについて学習しました。職場体験学習後の生徒の感想では「職場体験は大変だったけど、楽しかった。」や「仕事の大変さがよくわかりました。」など職場体験に真剣に取り組んだ感想が多くみられた。

## ③保育体験学習に係わる学習（保育体験学習）

南関子どもの丘保育園の保育士の方から事前学習として講話をしていただき保育について学習しました。その学習の後、各クラスの代表が体験を行う保育園や幼稚園に事前打合せに行き、設定保育（自分たちで計画してゲームなど保育をする時間）に取り組みました。

① の写真（福祉体験学習）



② の写真（職場体験学習）



②-1 の写真（職場体験学習）



③ の写真（保育体験学習）



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他（高齢者福祉）		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他（自由記入）	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他（自由記述）	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- まなばんかん登録者名簿（生涯学習支援センター）
- ユネスコスクール支援センターについて（大牟田市教育委員会）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクールとしての活動を総合的な学習の時間に位置付けている。  
「総合的な学習の時間」全体構想図を作成し、総合的な学習の時間の重点目標や目指す生徒像、各学年の活動のねらい等を明確にして取り組むようにしている。指導内容については第1学年から第3学年までの活動計画を教育指導計画に掲載し、3年間を見通した指導に努めている。1年生は福祉と生き方、2年生は自己実現とキャリア教育、3年生は保育体験と自己実現教育を実施している。指導方法の工夫改善に関しては、それぞれの活動において実施要領を作成し、生徒自ら課題を見つけ、課題解決の方法を探り、課題を解決し自己実現を図る活動を重視した指導を行っている。また、各教科、道徳、特別活動との連携を重視して指導を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教務主幹をE S D・ユネスコスクール推進の要として位置付けている。またE S D・ユネスコスクール担当主任を位置づけ各学年ごとの活動がスムーズに行えるように各学年に1名ずつの担当者を配置している。また年間計画に沿って活動が実施できるように月行事に各学年の活動計画を明記して全体的に見通しを持って活動ができるようにしている。また、市のE S D・ユネスコスクールの研修会などに管理職や担当者が複数名参加することで他の地域の取り組みについても研修を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校の自己評価項目に「E S Dの視点に立った体験学習の充実」という項目を設定し、学校関係者評価委員から意見をいただいている。また、毎学期ごとに全体の教育課程の職員による評価を実施し成果と課題を整理して次年度の改善に生かしている。さらに保護者や生徒によるアンケートも実施して教育課程の改善に生かしている。成果としては3年生で進路に向けて努力する生徒や将来の夢や目標を明確にした生徒が増加した。課題としては1年生、2年生における取り組みの改善が必要となった。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

毎月発行の学校だよりに ESD の取り組みを掲載して保護者や地域の方に発信している。また、学校HPや教育委員会のメッセージボードにも ESD の取り組みを掲載して情報を発信している。効果としては本校の ESD の取り組みについて保護者や地域の方々の理解が深まり活動に対する協力が得られやすくなった。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

○デイサービス歴木や米の山病院などの福祉施設や、地域包括支援センターなどの支援団体  
○大牟田市役所や大牟田消防署など  
○草木保育園や白川幼稚園などの地域の保育園や幼稚園

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

○生徒会役員による2校の小学校との交流を年2回行っている。  
○地域との交流は、生徒会役員を中心に全校生徒で地域のボランティア清掃を年1回実施している。  
○大牟田市内の小中学校では交流会には、生徒会役員、各学年の代表が参加している交流している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

1 年生は高齢者福祉施設訪問を実施して生徒は施設で働く方のご苦労や思い、介護が必要な高齢者の方の生活について学んだ。2 年生は地域の事業所や市の施設での職場体験学習を通して働くことの大変さや喜びを学んだ。3 年生は地域の保育園や幼稚園での保育体験学習を通して幼児とのふれあいの仕方や保育士の大変さや喜びを学んだ。生徒、職員が依頼や打合せを行うことにより今まで気づかなかった高齢者のこと、職業のことなどいろいろと知ることができた。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

本校の E S D の重点目標

- ・自分の生活と地域の事象との関わりについて探求することを通じて課題をとらえ総合的な分析力・実践力・解決策など生きる力の育成を図る。

本校の各学年の E S D のねらい

1 年生 福祉と生き方学習

- ・福祉体験学習において介護や福祉について、現代社会が抱える課題や現実問題を見つけ、理解し、課題克服へ向けて思考する。

2 年生 自己実現とキャリア教育

- ・職場体験学習を通し勤労の意義を感じ、将来の職業生活との関連について考える。

3 年生 保育体験と自己実現教育

- ・保育体験や高校調べを行い、自己実現をめざして自ら向上させるための取り組みを行う。